



AMX-58 格子模様のスクエアバッグ

デザイナー / 稲継由美子

2019S/S
(1-2)

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉60

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
シニョーリア	No.1	㉑(きなり系)	3.1玉
	No.7	㉒(ブラウン系)	3玉
ジヨコンダ	No.6	㉓(赤系)	2.5玉

●使用ヘドル…40羽 (30本/10cm)

●他に用意するもの…片面接着芯 (厚手) 160×52cm

縫い付け式マグネット (H206-049-2) 1組

●ヨコ糸密度…本体：29段/10cm 持ち手：40段/10cm

マチ・フタ：42段/10cm

●織り上がり寸法…本体・持ち手：長さ160cm、幅42cm

マチ・フタ：長さ154cm、幅10cm

●作り方

本体・持ち手、マチ・フタの2回に分けてタテ糸を準備して別々に織る。

1 タテ糸を張る。

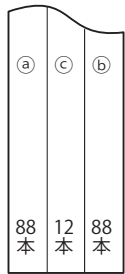
本体・持ち手

タテ糸の本数…㉑88本、㉒88本、㉓12本 (合計188本)

ヘドル通し幅…47cm

タテ糸の長さ…261cm

〈タテ糸配色〉



マチ・フタ

タテ糸の本数…㉓46本

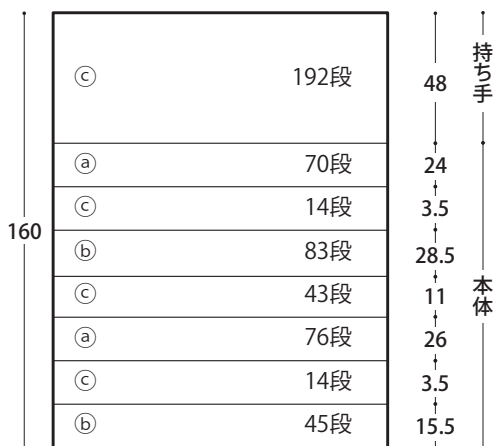
ヘドルの通し幅…11.5cm

タテ糸の長さ…210cm

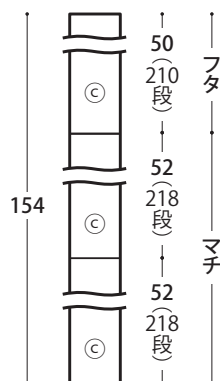
2 ヨコ糸を配色どおり織る。

〈ヨコ糸配色〉

本体・持ち手



マチ・フタ



表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。
織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。

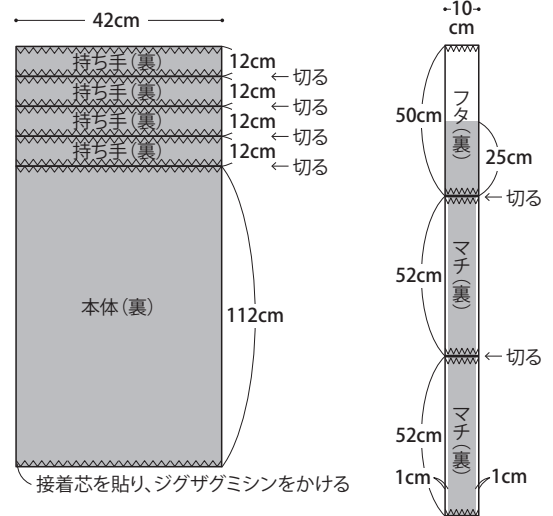
織るときは縮み分を考慮し、
打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

3 織地裏に接着芯を貼る。マチ・フタ部分は指定の位置にのみ接着芯を貼る。織端にジグザグミシンをかけ、フサを短く切る。

本体・持ち手

■ = 接着芯

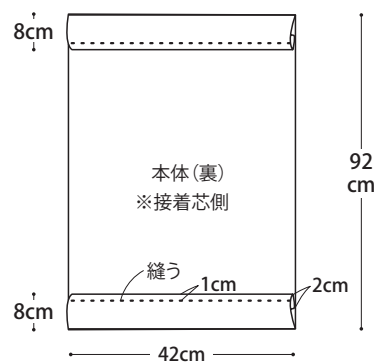
マチ・フタ



4 仕立てる。

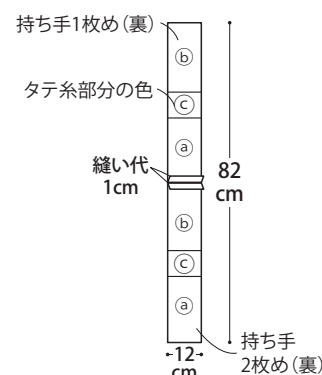
① 織端を2cm折って、図のように縫う

本体

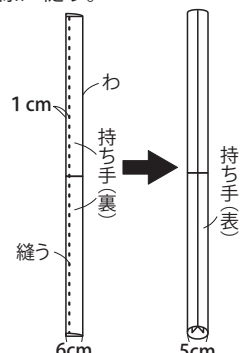


持ち手

② 持ち手の織地2枚を図の配置になるように縫い合わせる。

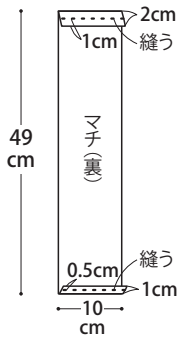


③ 縫い代を開いて、図のように中表に縫い合わせ、表に返す。3、4枚めも同様に縫う。



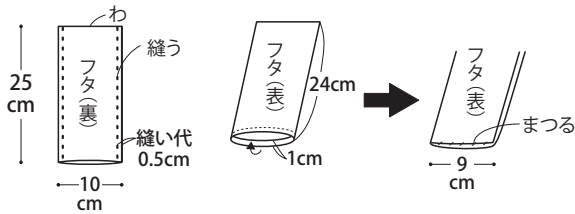
マチ

④織端を指定の通り折って、縫う。同じものをもう1枚つくる。

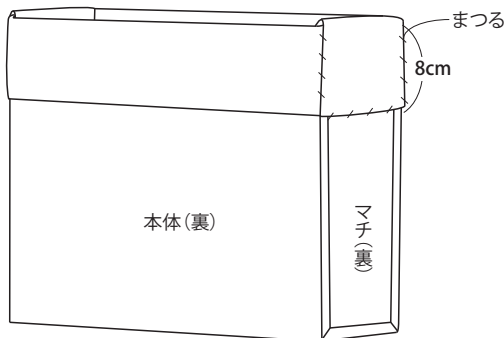
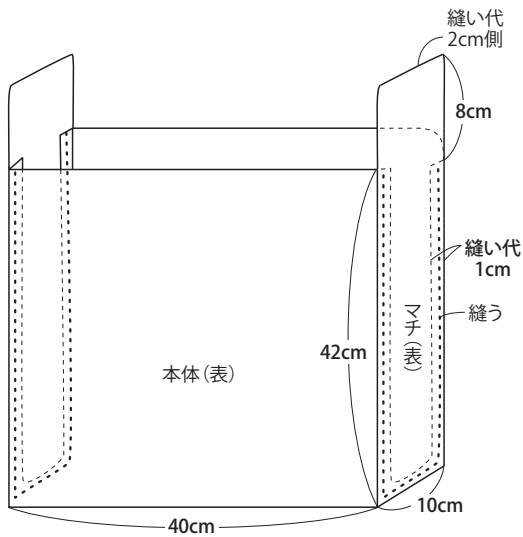


フタ

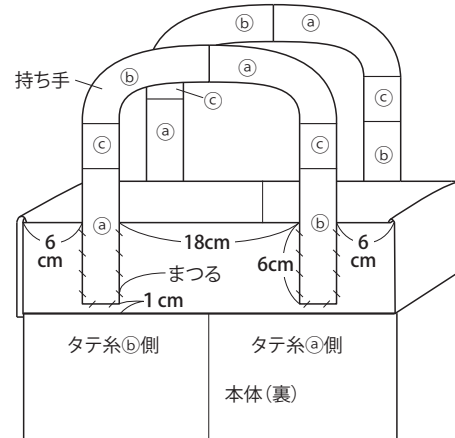
⑤半分に折り、中表にして両脇を縫う。表に返して織端を1cm折り込み、まつる。



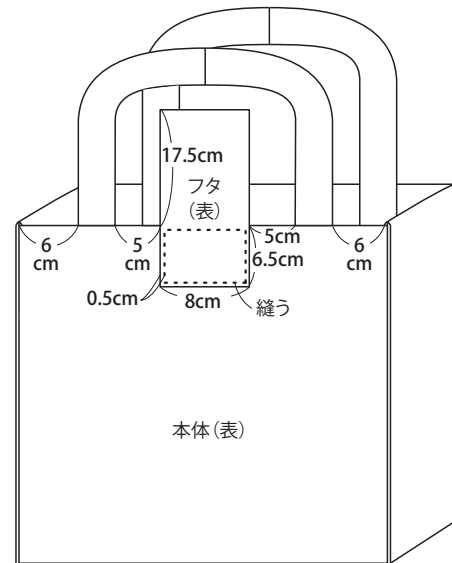
⑥本体とマチを図の通り縫い合わせる。



⑦本体に持ち手をまつりつける。



⑧本体にフタを縫いつける。



本体・フタ

⑨フタと本体に縫い付け式マグネットを縫いつける。

